

令和6年度 第2回花見川区支え合いのまち推進協議会議事要旨

日 時 令和6年12月17日(金) 午後3時～午後4時30分

場 所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数 20人

欠席委員数 5人

傍聴人 0人

事務局 12人

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 区長挨拶
- 4 事務局職員紹介
- 5 会議の公開について
- 6 議題
 - (1) 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）中間報告について
 - (2) 花見川区支え合いのまち推進協だより（第26号）原稿案について
- 7 報告事項 支え合いのまち推進計画の令和5年度の推進状況について【再掲】
- 8 閉会

【2】議事要旨

委員定数25名のうち、5名の欠席を確認し開会した。

金子委員長、足立区長挨拶後、事務局より、会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だより等への掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、また自治会等を通じ地域住民や公共の場に公開させていただく旨、了承を得た。（今回傍聴人0名。）

議題

- (1) 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）中間報告について
以後の議事進行は鈴木副委員長により行われた。

社会福祉協議会各地区部会（①検見川地区部会から②花園、③朝日ヶ丘、④犢橋、⑤こてはし台中学校区、⑥幕張・武石、⑦花見川、⑧花見川第2、⑨こてはし台、⑩天戸中学校区、⑪さつきが丘・宮野木台、⑬畑、⑭あんしんケアセンター花見川、⑮あんしんケアセンター花園）の順で、資料1及び資料2に基づき報告。

なお、⑩天戸中学校区は欠席のため事務局である千葉市社会福祉協議会花見川区事務所（布留川）から説明。

議題

- (2) 花見川区支え合いのまち推進協だより（第26号）原稿案について

議題（2）以降の進行は金子委員長により行われた。

千葉市社会福祉協議会花見川区事務所（猪野所長）から「資料3 推進協だより（第26号）原稿案」について説明があった。

今回の紙面構成として、支え合いのまち推進計画に基づき、前号に引き続き、地域の取りくみである地域活動にスポットをあて、地域活動の紹介記事を中心に掲載する予定で取材を進めている。

1面、から4面にかけて社会福祉協議会地区部会、あんしんケアセンターの活動、地域住民主体の活動の様子を掲載します。4面上段には上の台小学校避難所開設・運営訓練の様子を掲載します。4面下段は、花見川区健康課で実施している取組内容を掲載する予定である。

なお、発行時期は、令和7年3月中旬を予定しており、各町内自治会、公民館、図書館、市民センター、コミュニティセンターなどに郵送する。

報告事項

支え合いのまち推進計画の令和5年度の推進状況について

千葉市社会福祉協議会花見川区事務所（猪野所長）から支え合いのまち推進計画令和5年度の推進状況について説明があった。

令和6年8月6日に行われた「令和6年度 第1回花見川区支え合いのまち推進協議会」で報告した「花見川区支え合いのまち推進状況（令和5年度）」を地域福祉課に提出したものである。

なお、こちらについては、令和6年11月7日に開催された「第2回千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」で報告された。

<質疑応答>

鈴木副委員長 議題（1）について、何か質問、意見はありますか。

長島委員 こどもカフェ、居場所づくりに関しまして、花見川団地内のレンタルスペース「はなみがわLDK+」にて、来年1月にJEFの選手によるイベントを企画している。告知として、付け加えたい

鈴木副委員長 委員の改選で、地区部会長が代わった地区部会もあるので、本日初めて報告いただいた地区部会長さんから、なにか感想でもいいので、意見を聞かせてください。

片山委員 申し送られた資料が完備されているので、文字の上から過去の経歴等がわかると感じているのですが、それだけではわからないようなニュアンスの違いがあり、何年も経験されている方の意見を聞きながら、進めている。地区部会の中で活発な議論をしようと考えています。根本的なところから議論するので、なかなか進展はない。例えば、社会福祉協議会の構成員（メンバー）について、自治会、町内会・・・というように書かれているが、何を根拠にそうなっているのかなど、質問を受けても、「昔からそうなっているですよ」と答えられない。初めて議論する方は、根本的なことを質問されるので、私どもも、それに応じて勉強しながら成長出来たらと思っています。

金子委員長 皆さん、報告ありがとうございました。みなさんの様々な意見を聞いて、まだまだ勉強しなくてはいけないなと感じました。SNSで色々情報のやりとりをしているところがあるのですが、私どもの部会はやはりペーパーを捨てるわけにはいかない。どのようにSNSに取り組んでいるのか、教えていただきたい。

事務局 （会場からの発言がないのを受けて）SNS活用の取り組みについて、詳細がわからないので、調べて後日報告します。

金子委員長 自治会でも、社会福祉協議会でも情報の発信は難しい。情報が全てに伝わるかという伝わらず、私どもも紙とSNSと両方活用している。何せ、高齢者が多いので、なかなか情報の伝達は難しいと感じています。

橋立委員 3年前にぜひSNSをやりたいと思い準備を進め、地域SNSに参加することを検討したのですが、実際にその中身をみると、ほとんどがスーパーの宣伝が多く、社協の活動をそのSNSに載せていくのは非常に違和感があった。SNSは頓挫してしまったが、広報誌を4,000部発行し、併せて、伝統的な手法ではあるが掲示板も役に立っている。特に若い方への情報伝達の手段がなかなか無いので、有効な方法がまだ見つかっていない状況です。

清水委員 小中学校のPTAでは、既にペーパーレスでお知らせなどは全てSNSを通じて発信されている。今の保護者の方たちが、やがて私たちの年代になった時は、きっとSNSを使いこなしていくと思われます。しかし、今の推進協のメンバー、地区部会のメンバーにSNSを推奨されても、難しいです。ただし、時代は流れていくと感じており、SNSを活用できる時代がくれば、SNSを活用されることは、良いことだと思います。

鈴木副会長 SNSなど、色々情報伝達の仕方が進化していてついていけない高齢の自分もいますけれども、やはり、直にお会いして話すということが一番大事ではないかと思ったりします。若い人たちと繋がるのはSNSだけではなく、一緒にお祭りで協力し

たりすると心が通じたりするような気がします。

鈴木（幸）委員 話は変わりますが、我々地区部会で色々やっているが、それぞれ各地区のあんしんケアセンターやいきいきプラザ、区の健康課や社協の事務局の援助がなければ、なかなか進まないところもあるので、今後もぜひ、協力していただければと思います。

小西委員 参考になるかもしれないので紹介します。犢橋地区部会はフードパントリーをやっていますが、予約の募集は、ポスターに3つの方法でQRコードを掲載。InstagramとメールとLINEを通じて予約ができるようにしている。対話はうまくいかないですが周知方法として使っています。

金子委員長 おかげさまでこの会議も意見がでるようになり、とてもいいことだと思います。あんしんケアセンターに関する報告がたくさんありました。私たちは実際には直接あんしんケアセンターと話す機会が少ない。もう少しあんしんケアセンターを利用する方法を私たちが考えなくてはならないと感じました。今日話を聞く中であんしんケアセンターの努力と大変さがよくわかりました。ありがとうございました。

工藤委員 老人クラブは大変便利な組織です。20年前に退職し民生委員を務めていました。あの頃は、あんしんケアセンター（地域包括支援センター）が無かった。当時、10年後20年後には超高齢化社会が来ることは想定していました。当時の老人クラブの仲間は今ちょうど80歳前後です。老人クラブに入っている方は皆さん元気です。なぜかというと、グランドゴルフをやったりお茶を飲んだりするなかで情報交換ができる。ところが、後期高齢者になって「老人クラブに入りませんか」とお誘いすると大抵の方が抵抗します。やはり、年をとればとるほど、新しいことを始めるのは億劫のようです。65歳くらいから入っている方は20年の付き合いになるから、遠くの親戚よりなんとやら・・・非常に長続きしています。

今の民生委員は、高齢者が多い地域は見守り活動も大変だと思います。うまく老人クラブを活用していただきたい。皆さんの町の中にある老人クラブでも頑張っている高齢者がいますから。老人クラブに行って情報を聞いたりしてほしい。

ただし、老人クラブの会員が減少している。新しい会員が入ってこないのと、古い方は亡くなっていく。私共の老人クラブも立ち上げた時は会員が75名いたが現在は48名です。役員も80歳前後の方が担っている。

老人クラブでヒントになるのは好きなことで集まるのは苦にならないということです。踊りが好き、将棋が好き、おしゃれが好きとかなんでもいいのです。公民館や集会所で集まって実践することが生きがいになりますし、元気です。老人会をうまく活用してもらいたいです。

千葉市ではフレイル予防、認知症予防の観点から高齢者はどんどん外に出るように推奨している。バス一台借り上げたら、バス1台につき4万円を上限に補助が出るという制度もある。私どもでは、先月49名が参加し、国会議事堂、東京タワーを日帰りで観光をしてきました。このような行政の制度もあるので、うまく活用すれば地域の高齢者の生きがいや励みになります。老人クラブの会長等と情報を密にとって、ぜひ老人クラブを活用してもらいたいと思います。

議題

（2）花見川区支え合いのまち推進協だより（第26号）原稿案について

報告事項

支え合いのまち推進計画の令和5年度の推進状況について
上記項目について、質疑応答なし。

（閉会）

金子委員長が閉会挨拶し、午後4時30分、花見川区支え合いのまち推進協議会を閉会した。